

平成27年度 予算の概要

立川市の予算
総額1,349億1,714万円
(前年度比2.8%増)

市の予算は2つの会計に分類できます

一般会計

730億3,400万円
(前年度比1.0%増)

特別会計

618億8,314万円
(前年度比5.0%増)

市は、「にぎわいとやすらぎの交流都市立川」の実現に向け、平成27年度予算を編成しました。一般会計と6つの特別会計の総額は、1,349億1,714万円で、前年度に比べて36億9,844万円の増となっています。

☎ 財政課・内線2676

一般会計は、福祉や教育、防災、道路の整備など、市の基本的な仕事を行うための会計です。主な収入源は市税や国・都からの補助金などです。一般的に市の予算とは、この一般会計のことをいいます(下棒グラフ参照)。

特別会計は、収支を明確にするため、特定の歳入を特定の歳出に充てて経理する必要のある事業について、一般会計とは区別して設けられている会計です。

- | | | |
|-------------------------------------|--|---|
| ①競輪事業
193億3,473万円
(前年度比7.0%減) | ②国民健康保険事業
214億2,864万円
(前年度比13.0%増) | ③下水道事業
54億8,355万円
(前年度比6.1%増) |
| ④駐車場事業
1億5,872万円
(前年度比3.0%増) | ⑤介護保険事業
121億4,737万円
(前年度比14.3%増) | ⑥後期高齢者医療事業
33億3,013万円
(前年度比3.7%増) |

5つの重点施策 (主なものを掲載)

1. 行財政改革

- 児童館や地区図書館への指定管理者制度の導入の推進
- 公立保育園の民営化の推進
- 新たな窓口サービスの展開
- 市内本店事業者の入札参加基準の緩和(工事契約)
- 効率的な組織体制の構築と職員定数の適正化

2. 分かりやすい市政情報の発信

- 「市長と語ろう!」の開催や「広報たちかわ」などによる積極的な情報公開
- シティプロモーションに取り組み、本市の魅力や価値を発信
- 「たちかわ交流大使」の創設(1面参照)

3. 新たな仕組みづくりへの対応

- 子ども・子育て支援新制度に対応し、保育の量の拡大と質の向上に努める
- 子育てひろばや学童保育所など、地域のニーズに応じた多様な子育て支援を展開
- 市内全域に地域福祉コーディネーターを配置

4. 防災・防犯への取り組み

- 避難所機能・防災倉庫の整備や、備蓄品の更新
- 災害時に医学的な助言や調整を行う災害医療コーディネーターの新たな任用
- 立川断層の最新の調査結果をもとに、市民向けの講演会を開催
- 駅周辺安全事業の充実と消費者被害等の防止

5. ごみ減量とリサイクルの推進

- ごみ減量とリサイクルの周知・啓発(特に事業系ごみの減量)
- 清掃工場の移転に向けて、候補地周辺住民との合意形成に丁寧に対応
- 再資源化施設実証導入の継続

その他の力点を置く施策

「職員の人材育成とコンプライアンスの推進」と「公共施設の保全」

- 職場での人材育成を進め、職場力の強化を推進
- 職員倫理条例等のコンプライアンス規範を引き続き浸透させ、組織的な対応を図る
- 保全計画に基づく大規模改修や老朽化対応を実施
- 道路や下水道といったライフラインを含めた「公共施設等総合管理計画」の策定
- 「公共施設のあり方方針」に基づく、「第一期再編個別計画」の策定

行財政改革により約9億1,000万円を確保

行財政改革の成果として、平成27年度は約9億1,000万円の財源を確保しました。主な内容として、錦・上砂児童館や柴崎・上砂・多摩川図書館への指定管理者制度の導入など、歳出の見直しにより約3億2,000万円を削減。また、ネーミングライツや広告料収入により約1,700万円を確保。

一般会計730億3,400万円の内訳

